

第3章 基本目標達成に向けた具体的取組

凡例

【実】 実行計画事業

【既】 実行計画事業ではない予算事務事業

【新】 新規事業

【拡】 実行計画又は既存事業を拡充

※KPIの数値は、原則として単年度の実績値(累計ではない)

※KPIの現状の「ー」は新たに調査・集計等をする指標


【基本目標1】


若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

1 結婚の希望をかなえるための支援

(1) 若者等の就職の支援


若者等の所得が向上し、経済的に自立できるように、若者の就労と雇用安定を支援します。

就職面接会の実施						【実】	
隣接自治体との連携による福祉職種の就職面接会及び若者向けの合同面接会、企業訪問面接会を実施します。							
①	事業スケジュール					重要業績評価指標(KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	就職面接会等によって就職が決定した人数	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
					92人	100人	

就労支援センターの運営						【実】	
若者の求職者の個々の状況に応じて就労準備相談及び就職相談等を実施するとともに、就職後も就職者本人との面談等を通じて、安定就労のための定着支援を実施します。							
②	事業スケジュール					重要業績評価指標(KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	就労支援センターの利用により、就職が決定した人数	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
					620人	620人	


(2) 結婚を希望する男性と女性の出会いの支援


結婚を希望する方を対象に「共に働き・共に育児」をコンセプトにした出会いの機会の提供を支援します。

結婚に向けた出会いの場の創出 【新】							
「家事・育児が好き又はやる気のある男性」と「結婚・出産後も働きたい女性」とのマッチングについて、民間事業者等が実施する「婚活イベント」を区が支援し、結婚を希望する若者の出会いの場の機会づくりに取り組みます。							
①	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	イベント参加者数	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
						—	▶

2 安心して妊娠・出産するための支援

安心して妊娠期を過ごし、出産に備えられるよう、妊娠期からのきめ細かい情報提供や助言等の支援を充実させます。

妊娠期からの相談・支援の充実 【拡】							
保健師が全妊婦と面接を行い、心身の状態や家庭の状況等を把握して、該当地区を担当する保健師等による継続した支援・フォローにつなげます。あわせて、現行の出生時に交付する子育て応援券の一部を、新たに産前から利用できるよう見直します。							
①	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	保健師と面接をした妊婦の割合	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
						28.6%	▶

出産育児準備教室の実施 【実】							
初産の妊婦やカップルを対象に出産育児準備教室を実施し、妊娠から産後の健康な生活について正しい知識の普及や父親の育児参加を推進します。							
②	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	パパママ学級受講率	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
						45.7%	▶

3 安心して子育てするための支援

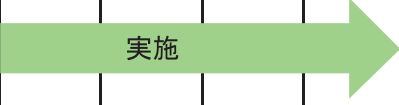
(1) 育児不安の軽減等を図るための支援の充実

不安や悩みを抱えることなく地域で安心して育児をすることができるよう、相談・支援体制や情報提供を充実させます。

すこやか赤ちゃん訪問・訪問育児サポーター事業の実施 【実】						
<p>出産後の全家庭に保健師・助産師等が訪問して、母子の健康状態把握や育児相談・助言を行う「すこやか赤ちゃん訪問」や、希望者に対して育児経験者が訪問し、離乳食づくりや子どもとの関わり方等実践的な視点から相談・助言を行う「訪問育児サポーター」事業を実施します。</p>						
①	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	すこやか赤ちゃん訪問率
						現状(平成26年度末) 平成31年度 98.4% 99%以上


子育てに関する総合的な支援体制・情報発信の充実 【実】						
<p>保健センター内に整備した子どもセンターにおいて、母子保健と連携した相談や情報提供等を行います。また、児童館等を活用した(仮称)子ども・子育てプラザにおいて、乳幼児親子が気軽に利用できる居場所を提供するとともに、子育てに関する相談や一時預かり事業等の子育てにかかわるサービス・事業を総合的・一体的に実施できる施設を順次整備し、子育て支援体制の充実を図ります。あわせて、子育てに必要な・便利な情報が確実に届くように情報発信の充実を図ります。</p>						
②	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合
						現状(平成26年度末) 平成31年度 67.1% 90%


産後ケア事業の実施 【実】						
<p>継続的な支援が必要な妊婦と産後早期の母子に対して、医療機関と連携して、母子ショートステイ及び母子デイケアを実施するとともに、自宅に保健師等やヘルパーが訪問し支援を行います。</p>						
③	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	子育てを楽しんでいると感じる人の割合
						現状(平成26年度末) 平成31年度 80.4% 90%


多子世帯への子育て応援券の増額交付					【拡】	
<p>子育て応援券の利用実態を踏まえ、出生時の無償応援券の交付額を見直す一方、子育ての負担の大きい小学生以下の子どもが3人以上いる多子世帯に対し、第3子以降へ無償応援券(0～2歳児)を増額交付し、子育て支援サービスを受けられる機会の拡充を図ります。</p>						
④	事業スケジュール				重要業績評価指標(KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	
					現状(平成26年度末)	平成31年度
					67.1%	90%


(2) 保育等環境の充実

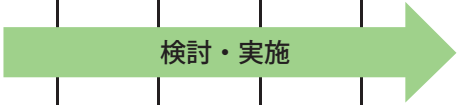
保育需要等の増加や多様化する保護者のニーズに応じて、保育サービスを適切に提供する等、すべての子どもが健やかに育つよう、保育等の環境の充実を図ります。

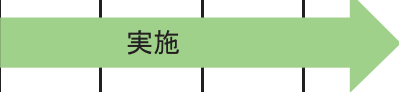
認可保育所等の整備					【実】	
<p>認可保育所を核とした保育施設の整備を着実に進めるとともに、区立保育園等の改築改修等を計画的に行い、その機会を捉えて受入定員の拡大を図ります。</p>						
①	事業スケジュール				重要業績評価指標(KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	保育待機児童数	
					現状(平成27年4月1日)	平成31年度
					42人	0人

多様な保育サービスの提供(延長保育・病児保育等)					【実】	
<p>保護者が安心して、就労・活動しながら子育てができるよう、延長保育・一時預かり保育・病児保育等、利用者の多様なニーズに対応した保育サービスを提供します。</p>						
②	事業スケジュール				重要業績評価指標(KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じる人の割合	
					現状(平成26年度末)	平成31年度
					55.8%	75%

「(仮称)すくすくひろば」の整備						【実】	
乳幼児の健全育成を図るため、園庭のない保育所周辺の公園内に乳幼児が安心して遊べる「(仮称)すくすくひろば」を整備します。							
③	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じる人の割合	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
55.8%						75%	

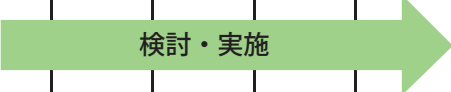
学童クラブの整備						【実】	
小学校内での整備を基本として順次移設・整備を進めるとともに、定員拡充を図ります。また、学校内移設後は、校庭等学校施設を活用した学童クラブ運営を行い、安心・安全に過ごせる育成環境の充実を図ります。							
④	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	学童クラブ待機児童数	
						現状(平成27年4月1日)	平成31年度
87人						0人	

学童クラブの利用時間の延長						【拡】	
保護者が安心して働きながら子育てできるように、終了時間及び夏季等の学校休業期間中の開始時間を延長します。							
⑤	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	利用時間を延長している学童クラブの割合	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
—						100%	

多子世帯の保育料等の負担軽減の実施					【拡】	
保育所、幼稚園又は子ども園を利用している児童に兄弟姉妹がいる場合の保育料等の減額・無料化等について、対象となる兄弟姉妹の年齢範囲を拡大します。						
⑥	事業スケジュール				重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じる人の割合	
					現状(平成26年度末)	平成31年度
					55.8%	75%

(3) 子育て世帯向けの住宅確保の促進

区に住みたい・住み続けたいと考える子育て世帯が、区内で暮らすことができるよう支援します。

ファミリー向け住宅の供給促進の支援					【新】	
民間事業者等と連携して、空き家のリノベーション ^(※) 等による子育て世帯向け物件の供給増を促進するとともに、住宅所有者と利活用事業者等とのマッチング支援の仕組みを構築します。						
①	事業スケジュール				重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	実施時に設定	
						


(※) 既存の建物に改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えること

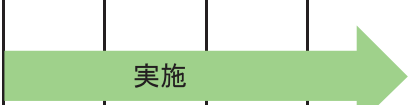
【基本目標2】

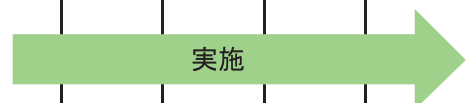
来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する


1 地域に根差した観光資源の魅力向上

区の「良さ」「らしさ」の魅力を高め、来街者を増やします。

荻外荘の復元・整備を中心とした観光エリアの整備 【実】						
歴史的・文化的価値を有する荻外荘の復元・整備を行うとともに、展示、イベント等を通じて、観光資源としての魅力の向上を図ります。また、大田黒公園等の周辺施設との連携や回遊性を意識した上で、荻外荘を中心に周辺エリアをハード・ソフトの両面から観光資源として整備します。						
①	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	周辺来訪者数
	 実施					現状(平成26年度末) 平成31年度 11万3,691人 15万人


杉並芸術会館(座・高円寺)を拠点としたにぎわい創出 【拡】						
杉並芸術会館(座・高円寺)において、子ども関連企画の取組等、年間を通じて様々な芸術文化普及振興事業を実施するとともに、高円寺駅周辺のイベントでの地域協力・連携事業等を実施します。						
②	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	来館者の高円寺地域での買物率
	 実施					現状(平成26年度末) 平成31年度 57% 70%


アニメーションミュージアムの充実 【拡】						
アニメ制作会社と連携した企画展の実施等、コンテンツの充実を図るとともに、多言語音声ガイドの導入等で訪日外国人旅行者の利便性を高め、来館者を増やします。						
③	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	来館者数(うち外国人来館者数)
	 実施					現状(平成26年度末) 平成31年度 4万1,011人 8万人 (3,845人) (1万人)

地域イベントの開催支援					【既】	
各地域で行われるイベントの連携・コーディネート等の支援や観光マップ等によるPRを行い、区の良さや魅力を発信し、区外からの来街者を増やします。						
④	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	対象イベント参加者数
						現状(平成26年度末)
約193万人						200万人以上


2 情報発信力の強化


従来とは異なる情報発信によって、より多くの人に区の魅力を効果的にわかりやすく伝えます。また、外国人に向けての情報発信では、外国人の視点に立ち、外国人ライターや訪日外国人旅行者によるソーシャル・ネットワーキング・サービス等を活用した情報発信の充実を図ります。

情報発信の体制強化					【新】	
広告・宣伝業務に精通した人材登用や、民間企業等が発行する情報誌・フリーペーパーへの記事掲載等を通じて、観光情報等の発信力を強化します。						
①	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	にぎわいを感じている店舗の割合
						現状(平成26年度末)
—						80%


中央線あるあるプロジェクト ^(※) の推進					【実】	
区内JR中央線各駅のまちを通じ、区の「良さ」「らしさ」を再発見し、イベント、観光スポット、ひと、まちの文化を観光資源として集約し、ソーシャル・ネットワーキング・サービス等を用いて効果的にPRすることにより、区への持続的な集客を図ります。						
②	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	あるあるプロジェクトFacebook「いいね」数
						現状(平成26年度末)
3,017						1万1,000

(※) 区のほか、区内産業団体、企業、NPO等で構成される実行委員会により運営されている区の都市観光事業の一つ

すぎなみ学倶楽部の運営					【実】		
<p>区の様々な分野の魅力を掘り下げ、都心部の観光スポットとは異なる「良さ」「らしさ」をホームページで紹介することにより、区民の区への愛着を高めるとともに、区外からの来街者の増加を図ります。</p>							
③	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	ホームページアクセス数	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
						約60万件	65万件

フィルムコミッション ^(※1) の実施					【実】		
<p>区施設や区内の公園等、TVや映画のロケ地等を紹介することにより、区の知名度を高めるとともに、新たな観光資源として発信します。</p>							
④	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	ロケ情報の問い合わせ件数	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
						12件	40件

(※1)地域の活性化や観光振興等を図るために設置された、映画・テレビドラマ等の撮影場所誘致や撮影の支援を行う組織


駅周辺トランスボックス ^(※2) ラッピングの実施					【新】		
<p>区を代表する観光資源である「高円寺阿波おどり」等をテーマにしたアートデザインで、駅周辺のトランスボックスをラッピングし、新たな観光資源として区内外へ発信することにより、にぎわいの創出を図ります。高円寺駅周辺での実績を踏まえ、他地域への事業拡大を推進します。</p>							
⑤	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	ラッピング実施数(累計)	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
						—	40基


(※2)電力会社が管理している電線類を地中化するために路上等に置かれる箱型の設備

3 外国人来街者の誘致

(1) 台湾との交流による来街者の増加


訪日外国人旅行者数が最も多い台湾に対して、区や交流自治体の観光資源を活用した誘致を行うことで、来街者の数を増やします。

交流自治体連携による台湾からの修学旅行等の誘致促進						【拡】	
交流自治体と連携し、多様な観光メニューを用意することで、台湾からの修学旅行等の青少年交流事業を区や交流自治体へ誘致します。							
①	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	台湾からの修学旅行者数	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
					—	▶ 140人	

台湾との文化・芸術交流の実施						【新】	
これまでの台湾台北市との中学校野球親善交流や高円寺阿波おどり公演を通じて深めてきた交流に加え、今後は、さらに相互の市民が参加する文化・芸術の交流を推進します。							
②	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	文化・芸術公演実施延べ回数	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
					—	▶ 3回	

(2) 観光振興の基盤整備

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催等を好機と捉え、増加する訪日外国人旅行者に対応可能な基盤を整備することで、区への外国人来街者の増加を図ります。


宿泊施設の拡充をはじめとする訪日外国人旅行者のための観光基盤整備						【新】	
国家戦略特区制度を用いて、アパート等を外国人の滞在型宿泊施設(7~10日以上)の宿泊)として整備・運営する事業者に対し、助言等の支援を行います。また、区に密着した旅行の商品化支援等、訪日外国人旅行者誘引のための基盤整備を進めます。							
①	実施スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	旅館業法許可施設数及び旅館業法の適用除外宿泊施設数	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
					6施設	▶ 20施設	


【基本目標3】

地方との連携により、豊かな暮らしをつくる

1 多様な体験を通じた子どもの健やかな成長の支援

様々な体験や交流によるかかわりを通して、子どもたちが共に支え創る力を育むため、交流自治体の豊かな地域資源を活用し、教育活動等に対する支援を行います。

交流自治体と連携したフレンドシップスクールの実施						【実】	
交流自治体との友好関係を活かし、中学生が充実した学校生活を送るためのよりよい人間関係づくりを目的として、中学校進学後間もない時期に、農業体験等を通じた地元農家とのふれあいや自然体験等を行うフレンドシップスクールを実施します。							
①	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	交流自治体での実施校数	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
						7校	23校 (区内全校)

交流自治体等への交流・体験学習事業の実施						【実】	
交流自治体等との連携により、次世代育成基金を活用した小・中学生の交流・自然体験事業を実施し、区にはない自然環境、文化、生活に触れることにより、健全育成を図ります。また、現地の子どもたちとの交流を通じて、子ども同士の絆や相互理解を深め、将来に向けた交流の活性化を図ります。							
②	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	交流自治体等への交流・体験事業参加児童・生徒数(累計)	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
						105人	525人

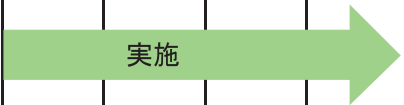
2 地方の地域資源の活用による豊かな生活づくりの支援

交流自治体の山や海等の豊かな自然を体験する機会や、新鮮で豊富な農産物等を販売する体制をさらに充実し、区民の余暇活動や日常生活を豊かにするとともに、交流自治体との人の流れを活性化させます。

交流自治体物産展・情報発信の充実 【拡】						
年間を通して各交流自治体の物産展や観光写真展を実施するとともに、その回数を拡大します。また、これまでの区役所での販売に加え、通信販売等様々な手法も取り入れて、交流自治体の新鮮な農産物等を区民に提供します。						
①	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	交流自治体物産展売上額
						現状(平成26年度末) 平成31年度
					約1,000万円 1,500万円	

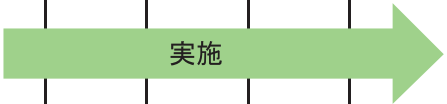
交流自治体とっておき情報の発信 【新】						
新たに交流自治体の情報紙を発行し、各自治体の食・文化・自然・歴史・ものづくり等の特色ある「とっておき」の情報を発信し、国内旅行等、区民の余暇活動の充実を支援します。						
②	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	情報紙発行回数
						現状(平成26年度末) 平成31年度
					— 2回	

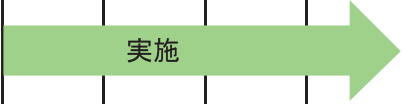
交流自治体体験・交流ツアーの開催 【拡】						
田舎料理づくりや稲刈り等の様々な体験ができるツアーを交流自治体とともに企画・開催し、区にはない自然環境や文化等に接する機会を提供します。また、交流自治体から区内へのイベント等へ参加するツアーを開催し、住民同士の交流を拡大します。						
③	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	参加者数(累計)
						現状(平成26年度末) 平成31年度
					— 120人	

「すぎなみ地域おこし協力隊」の創設、活動支援					【新】		
区内在住・在勤・在学の若者が、週末等の一定期間を利用して交流自治体で様々な地域おこしの活動を行う「すぎなみ地域おこし協力隊」を創設します。この協力隊の活動を通じて、人材不足に悩む交流自治体の活性化に寄与するとともに、若者が活躍する場の提供や自己啓発の機会を拡大します。							
④	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	活動人数(累計)	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
						—	160人

3 連携による結婚・就労の希望をかなえるための支援

区民の多様なライフスタイルを実現するため、交流自治体等が開催する若者の出会いの場を確保する事業の情報発信や就労体験の機会の創出等により、若者の結婚や就職の希望に対する支援を行います。

交流自治体との連携による若者の出会いの場の創出支援					【拡】		
交流自治体・観光協会が実施している、区と各自治体の未婚者の出会い・交流の場を確保する事業について、結婚を希望する若者がより多く参加してもらえるよう、区の広報紙及びホームページ等を活用して事業のPR活動を支援します。							
①	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	イベント参加者数	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
						2人	30人

交流自治体におけるふるさと就労体験の実施					【新】		
杉並区就労支援センターで実施している就労準備訓練の区内企業での実習・ボランティア活動に加え、交流自治体での合宿型の就労体験事業を新たに実施し、よりきめ細かく一人ひとりの課題や特性に応じた支援ができるよう取組を充実します。							
②	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	合宿型の就労体験参加者数	
						現状(平成26年度末)	平成31年度
						—	5人

4 新たな住まい方の提案

多様化する区民ニーズに対応し、地方での暮らしに興味・関心がある区民を対象に、生活に必要な情報等を提供し、地方での暮らしを支援します。

南伊豆町との連携による特別養護老人ホームの整備						【実】	
静岡県南伊豆町の町有地を活用して特別養護老人ホームを整備し、本人や家族の多様なニーズに応えるとともに、特別養護老人ホーム入所待機者の早期入所につなげます。							
①	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計画数 ^(※1) に対する入居者の割合	
	事業者選定		整備		開設・運営		現状(平成26年度末)
						—	100%

(※1)第6期杉並区介護保険事業計画の数値で、50人程度を見込んでいる

南伊豆町「お試し移住事業 ^(※2) 」への参加支援						【新】	
事業説明会や現地見学会の開催等を通じて、静岡県南伊豆町が実施する「お試し移住事業」の参加者を支援するとともに、参加者の現地での豊かな暮らしにつながるよう、南伊豆町に有する区の施設や用地を活用した健康づくりや生きがい活動等についても検討します。また、参加者が区内に家屋を所有している場合は、移住中の有効活用の支援を行います。							
②	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	お試し移住セミナー参加者数	
	実施					現状(平成26年度末)	平成31年度
						—	60人

(※2)主として退職後の元気な高齢者が一定期間移住するもの

「おぢやクラインガルテンふれあいの里 ^(※3) 」の区民の利用支援						【新】	
新潟県小千谷市の「おぢやクラインガルテンふれあいの里」にある滞在型農園を区民が利用することを支援し、二地域居住 ^(※4) や短期の田舎体験の場を提供します。							
③	事業スケジュール					重要業績評価指標 (KPI)	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	利用者の満足度	
	実施					現状(平成26年度末)	平成31年度
						—	80%

(※3)滞在型農園、日帰り型農園を備えた農業体験施設

(※4)都会と農村等、二つの生活拠点を行き来すること

将来にわたる杉並区と地方の発展のために

策定の趣旨

- ◆平成26年 区は、地方との共存共栄を図る観点から「自治体スクラム支援」や区域外特養の整備の取組を踏まえ、「新たな広域連携」の可能性について調査・研究を開始
- ◆平成26年11月 国は、地方に対して地方版総合戦略策定の努力義務を規定した「まち・ひと・しごと創生法」を制定、12月 国の「長期ビジョン」「総合戦略」を閣議決定
- ◆区の出生率は0.99と低位。日本全体の女性人口が当分の間減少していくことを鑑みると、仮に出生率が向上しても、女性人口×出生率で決まる出生数は、減少することも考えられる。団塊の世代が75歳に達し、後期高齢者が増加、死亡数も増加。区外からの転入者を人口増の主要因としている区としては、日本全体の人口減少の影響を受けることになる
- ◆地方創生を人口が減少している地方の問題あるいは都市と地方の二項対立ととらえる風潮があるが、人口減少に歯止めをかけ、活力ある日本社会を維持していくためには、人口が減少していない自治体も日本全体の問題と認識し、共に取り組むという視点が必要

基本目標1

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

現 状

- 待機児童解消に向け平成22年度から保育定員を約2,890人拡充
- 平成17年以降は、出生数及び出生率ともに増加傾向
- 結婚意向のある男女約8割
- 希望する子どもの数「2人」が約5割で1位 平均では、「2.27人」
- 今後子どもを持つ条件「地域の保育サービスの充実」が1位

平成31年度の目標

- 仕事と生活の調和が図られていると感じる割合 64.2%→75%
- 若者（18～39歳）の定住意向 77.3%→85%
- 出生数に占める第二子以上の割合 38.8%→45%

基本目標2

来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する

現 状

- 「あるあるプロジェクト」を民間事業者と協働で実施。ソーシャル・ネットワーキング・サービスへのアクセス数やイベント参加者数が増加
- 全国的な有名スポットはないが、様々なイベント等で多くの来街者が訪れている
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催決定等を契機に、訪都外国人は増えているが、訪問先は都心部や一部の観光地に集中
- 訪日外国人旅行者数第一位の台湾と少年野球や阿波おどりを通じて交流を深めている

平成31年度の目標

- 区内全駅の日平均乗降客数 平成26年度 70.6万人→74.5万人
- 外国人を含む来街者の増加を実感している店舗の割合（新規調査）→80%

基本目標3

地方との連携により、豊かな暮らしをつくる

現 状

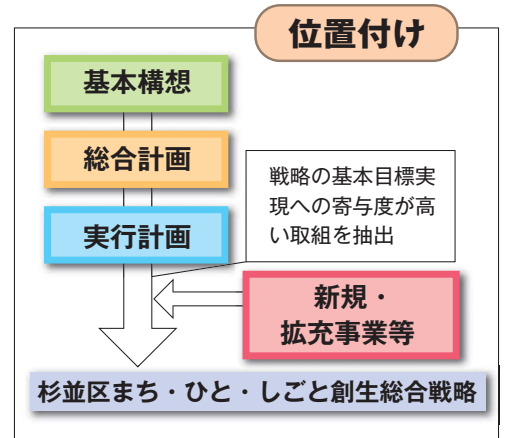
- 都市と地方の行政課題の解決に向け、自治体連携により静岡県南伊豆町に、区民が入居できる特別養護老人ホームを整備中
- 交流自治体との小学生の交流・体験学習事業には、多くの子どもが参加
- 40～60代 地方での暮らし「してみたい・興味がある」約4割

平成31年度の目標

- 国内交流自治体との連携事業への参加者数 2,572人→3,200人
- 連携事業を通じて暮らしが豊かになった区民の割合（新規調査）→80%

地方創生を自らの問題として正面から受け止め、将来にわたって地域の活力を維持し、持続可能な財政運営を確保するため総合戦略を策定

【新】：新規事業 11 【拡】：拡充事業 10



目標実現のための基本的方向

- 結婚の希望をかなえるための支援
- 安心して妊娠・出産するための支援
- 安心して子育てするための支援

主な取組

- 結婚に向けた出会いの場の創出【新】
- 妊娠期からの相談・支援の充実【拡】
- 多子世帯への子育て応援券の増額交付【拡】
- 認可保育所等の整備 ○学童クラブの利用時間の延長【拡】
- 多子世帯の保育料等の負担軽減の実施【拡】
- ファミリー向け住宅の供給促進の支援【新】

目標実現のための基本的方向

- 地域に根差した観光資源の魅力向上
- 情報発信力の強化
- 外国人来街者の誘致

主な取組

- 杉並芸術会館（座・高円寺）を拠点としたにぎわい創出【拡】
- アニメーションミュージアムの充実【拡】
- 地域イベントの開催支援 ○情報発信の体制強化【新】
- 駅周辺トランスボックスラッピングの実施【新】
- 交流自治体連携による台湾からの教育旅行等の誘致促進【拡】
- 台湾との文化・芸術交流の実施【新】
- 宿泊施設の拡充をはじめとする訪日外国人旅行者のための観光基盤整備【新】

目標実現のための基本的方向

- 多様な体験を通じた子どもの健やかな成長の支援
- 地方の地域資源の活用による豊かな生活づくりの支援
- 連携による結婚・就労の希望をかなえるための支援
- 新たな住まい方の提案

主な取組

- 交流自治体物産展・情報発信の充実【拡】
- 交流自治体とっておき情報の発信【新】
- 交流自治体体験・交流ツアーの開催【拡】
- 「すぎなみ地域おこし協力隊」の創設・活動支援【新】
- 交流自治体との連携による若者の出会いの場の創出支援【拡】
- 交流自治体におけるふるさと就労体験の実施【新】
- 南伊豆町との連携による特別養護老人ホームの整備【実】
- 南伊豆町「お試し移住事業」への参加支援【新】
- 「おぢやクラインガルテンふれあいの里」の区民の利用支援【新】